

旭川市（旭山動物園）と包括的な連携と協力に関する協定を締結

酪農学園大学と旭川市（旭山動物園）との包括的な連携と協力に関する協定書調印式が、9月5日（月）10時から、酪農学園本館4階第1会議室で行われました。本学からは谷山弘行学長以下関係者8名が出席、旭川市からは旭山動物園坂東元（ばんどうげん）園長が出席しました。

旭川市旭山動物園とは以前から、坂東園長が本学の卒業生ということもあり、卒業論文等での調査活動や特別講演などを通じ交流が行われていましたが、本学のマレーシアでの活動が国際協力機構（JICA）の採択内案件となったことを契機に、これまでマレーシアで野生動物レスキューセンター設立計画を進めていた旭山動物園と共同で事業を展開していくため、協定を結ぶことになりました。

また、マレーシアだけでなく、北海道の生物多様性保全への取り組みを、本年6月に本学と協定を結んだ公益財団法人知床財団と旭山動物園がすでに協定を結んでいることから、三団体が協力して行っています。

調印式で谷山学長は「次代を担う学生に対して、動物園を訪れる家族や子供に対して大学ができることを考えながら、未来に自然をどういう形で残していくかということについて、国民、市民の理解を取り進めたい」とあいさつしました。

坂東園長は「自分たちの暮らしている環境は、これまでの10年とこれからの10年で大きく違ったものになる可能性が強く、子どもたちが自分でどのような未来を描きながら世界に出ていくかが問われており、動物と共通の未来のための具体的な方策を考えていきたい」とあいさつされました。

子どもたちの未来へ向け、野生動物や自然環境と人間生活の調和のため、協力体制を築き上げることを願い、調印式は無事終了しました。



写真左から）坂東 元園長 谷山 弘行学長



HTB「仔才」の道内ニュースにて放送



金子 正美教授 林 正信教授 佐々木 均教授 中辻浩喜准教授
坂東 元園長 谷山 弘行学長